

伊勢志摩元気プロジェクト **賢島大学**

志摩市阿児町賢島

代々木高等学校内

電話 0599(43)6177

見えないけどそこにある。「賢島大学」は「ばーちやる大学」。
伊勢志摩元気プロジェクトの賢島大学がそこにある。

21世紀のしあわせは何なのでしょうかね。

しあわせが実感できるような、文化の薫る島・賢島にしたい。

21世紀のしあわせの島は賢い島。

養殖真珠の発祥の地・多徳島は向いの島。そして英虞湾。

自然のまま、環境保全を考慮しながら、心が満たされる島づくり、
文化を考え、元気な島づくりをしたい。

英虞湾に浮く周囲6.7Kmの賢島全体と周辺環境がキャンパス。

夢見る仲間が賢島キャンパスに多くの人が集まり、

自然環境を保全し、そこで多くを学び、そして元気がでたら いいなあ！

主役募集。新しい物語の始まりである。

伊勢志摩元気プロジェクト **賢島大学** を作ります。教授、大学生を募る！

〔組織、ひと〕案 交渉中 今からです

竹内 千尋（志摩市長）

（志摩市企画部から）

設立準備委員

高橋 忠之（賢島学教授、前志摩観光ホテル総支配人兼総料理長）

一色 真司（KK 麗光学園社長、代々木高校学校長）

設立準備委員

西尾 哲明（代々木高校教育研究所長、前神明小学校長）

設立準備委員

大屋 泰子（伊勢志摩トウデイ主宰）

設立準備委員

伊藤 佳行（伊勢志摩経済新聞主宰）

設立準備委員

松井 純（三重大学）

設立準備委員

中井 義久（英虞湾環境教育研究会 代表）

生賀 （志摩自然学校）

他に志摩市教育委員会、志摩マリンランド、近鉄、旅行会社、賢島のホテル・旅館、商店会、船組合、立神四季物語、英虞湾再生コンソシアム等

〔内容 運営〕

場所 代々木高校の校舎を利用して、授業（講義あるいは実技、実験）をします。
学外のフィールドワーク等は賢島や周辺キャンパス

内容（教材） 伊勢志摩、英虞湾、特に賢島に関するもの。
(文化、歴史、自然、環境、社会、経済、産業、水産等々)

事業（方法） 一般講座

- ① 誰でもが先生（教授）。一般公募し、大学運営（企画）委員会で検討し、講義する者を決めます。
- ② 年間4, 5回の授業を企画し、修了者には終了証を発行します。
賢島をベースにした学問（文化、歴史、自然、環境、社会、経済、料理、産業、水産等）を構築したい。
- ④ 最終は賢島については「賢島学（仮称）」として資料集、研究収録をまとめたい。
- ⑤ 出席したもの（大学生）の受益者負担金と補助金、寄付金、麗光学園等で運営したい。

特別講座例①（観光事業） ～提案をしていく

特別授業①は地域外者を対象にして、観光も兼ねて、宿泊研修のスタイルとする。

- ・ 賢島（周辺を含む）のホテル、旅館等に宿泊をし、研修講座を組む。更にフィールドワークを実施。ツアーを組んでいく。旅行社や近鉄、三交、近鉄レジャーサービス、賢島遊覧船組合等へ提案していく。
- ・ 団塊の世代が退職時期に入り、また還暦も含め、昔に新婚旅行で訪問したであろう賢島への「賢島学の講座付きの旅行パック」を提案していく。

例「華麗なる一族」「君の名は」のころの賢島等々。

旧アサヒキャンプの多徳島。養殖真珠発祥の地・多徳島ツアー（大崎多徳を含む）。
など

特別講座例②（文化、環境教育） ～「賢島学（仮称）実技」のベース作り

- ・ 今年は多徳島で養殖の真円真珠が発明されて100周年である。100年前と今の英虞湾の状況ははるかによくない。環境保全を考える講座を組んでいく。
- ・ 英虞湾の環境の実態、再生を考える。環境保全を基幹に据え、賢島の活性化へ結びつくような活動へと進める。
- ・ 環境保全をベースにして、イベントを企画し、元気ある島を作っていく。
例えば、英虞湾シーカヤック大会。賢島いかだ一周。無人島へいかだでいこう！
アサヒキャンプを探る。
真珠学習～核入れ、貝掃除、取り出し、加工の体験。
御木本真珠王を尋ねて、多徳島～大崎 ミキモト真珠工場見学～鳥羽・真珠ヶ島。

高橋シェフと賢島を語る。など

資格

誰でもが学生であり教授。教授も学生も一般公募します。多くの参加者を期待します。

入学試験はありません。単位の認定は特にありません。

教授については運営委員会で選定し、決定していく。

賢い志摩（島）で賢くなるよう文化の高いものを求めます。

賢島から文化の高い賢い島、賢島をめざしたい。

事務局運営

事務局は代々木高校へ置く。

事務局運営費＝代々木高校、市から補助金、篤志寄付、スポンサーで。

事務局員は代々木高校、市企画部と専任事務局員

設立準備委員会

開学までに行う。設立及び準備をする。

理事会

伊勢志摩元気プロジェクトと数名で理事を組織し、根幹的なところを話し合う。

運営委員会

開学後、運営委員会で大学運営を行う。

その他

開校予定は2007年4月です。

賢島大学は当面4年間の実施とします。

2007年2月

賢島大学設立準備委員会（志摩市阿児町賢島代々木高校内 0599-43-6177）

2007年度伊勢志摩元気プロジェクト賢島大学 事業計画(案)

月	行 事	備 考
4	開学 第1回講座 理事会	
5	運営委員会	
6	第2回 講座	
7	運営委員会 特別講座 A	
8	フィールドワーク 特別講座 B	
9	理事会	
10	第3回 講座	真珠祭
11	運営委員会	
12	第4回 講座	
1	特別講座 ③ 理事会	
2	運営委員会	
3	第5回 講座 終了式	

2007年度 伊勢志摩元気プロジェクト 賢島大学予算書 (案)

1 収入

科 目	2007年度予算額	説 明
1 会費	150,000	30×1000×5
2 市助成金	900,000	活動補助金
3 寄付金	340,000	一般寄付金
4 麗光学園から	400,000	代々木高校設置者
5 雑収入	10,000	預金利息 等
計	1,800,000	

2 支出

科 目	2007年度予算額	説 明
1 会議費	10,000	理事会、運営委員会経費
2 講座報酬、研究費	100,000	教授報酬、研究費
3 事務費	40,000	
A印刷費	100,000	会報、案内等印刷費
B通信費	10,000	切手代、郵送費、電話代
③旅費交通	10,000	旅費
④消耗品費	10,000	事務用品費
4 事務局費	1,200,000	事務局員費 100,000×12
5 会場借料	100,000	空調費含む
6 活動費	200,000	
7 雑費	10,000	雑支出
8 予備費	10,000	
計	1,800,000	